

介護福祉士 10 年 介護・福祉現場の声を区政へ

介護の仕事をするなかで、現場の努力だけでは解決できない多くの課題にぶつかり、何度も悔しい思いをしてきました。介護の現場の声が政治に届かない、やはり政治の力が必要だと痛感しました。

高齢者、障がい者が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、介護・福祉の現場で働いた経験を生かしてがんばります。

木村 ひでこ

きむら

秀子

日本共産党 党地区介護・暮らし相談室長
(区議予定候補)



プロフィール：1965年8月4日、山形県南陽市生まれ。南陽市立漆山小・中学校、山形県立宮内高等学校商業科卒業。2007年社会福祉法人すこやか福祉会入職。高齢者住宅、ファミリーケアすこやか、ファミリーケア水元公園、ファミリーケアあおと、デイサービスセンターかなまち、みさと健和病院地域包括ケア病棟に勤務。介護福祉士・介護支援専門員・福祉用具専門相談員。趣味はピアノ、バイク、車、ゴルフ、料理。料理は1つの食材で5品をつくる。

葛飾民報

日本共産党葛飾地区委員会は木村ひでこさんの政策と見解について発表しました。
2017年9-10月号外 発行：葛飾民報社 / 葛飾区南水元2-24-12 3697-2101

介護の現場で働いた経験生かし、 高齢者と家族の思いをとどけたい



区政で訴えていききたいと思っています。
だからこそ、身近なところから高齢者と家族を支える政治を実現したい。私はそのことを区政で訴えていききたいと思っています。

ないのです。
いて、安心して医療と介護を受けられる状態に
国が制度を見直すたびに使うのが大変になって
な負担が伴います。デイサービスや訪問介護も、
いし、サービスを受けるとしても経済的に大き
仕事を辞めてまで親の介護ができる人は少な
その家族にとっても深刻な問題です。
介護をどうするかは、高齢者自身にとっても、

区政で訴えていききたいって、 いいよね？

木村ひでこさんに聞きました

介護福祉士として、高齢者施設や介護施設で働いてきた木村ひでこさん。介護の現場で感じてきたことや区政にのぞむことを語っていただきました。



介護の仕事へのきっかけは？

たまたま新聞に折り込まれていた「ヘルパー2級の資格を取りませんか」というチラシを見て応募したのがはじまりです。

最初から介護の仕事というものを知っていたわけではなく、ある意味、未知の世界でした。でも、思い出してみれば、祖母が入院した時に、泊まり込みで付き添ったのが介護のはじまりだったと思います。

いま改めて考えると、介護は技術というより、心だと思っています。私心がけてきたのは「聞く」ということ。人の話には、その人の生きてきた歴史があります。やっぱり、人に接する仕事は

すばらしい。私は介護の仕事を通じて人生の先輩に、私にとって「宝もの」となる、たくさん
のことを教わりました。



木村ひでこさんの活躍に期待します

木村さんは、何かあるとすぐに飛んできて、担当でなくなった後もいつも声かけをしてくれました。また、私の話を最後まで丁寧に聞いて、言いたいことを受けとめてくれました。木村さんには全体的に信頼を置いているし、その思いはこれからも変わりません。

後藤事江さん（介護施設利用者）



現場で常に先頭になって動いてくれ、スタッフや利用者さんが困っているといつでも相談にのっていました。木村さんがいると安心。区政でも活躍を期待します。

紙屋友信さん（元職場上司）



ヨークマートの前にも横断歩道が必要です

ヨークマート前に横断歩道を区に要望しました

ヨークマート前の道路を安全に渡れるようにするため、「横断歩道の創設」署名に取り組み、区に提出。あわせて道路の安全対策を要請しました。

新宿交通公園を調査 区に改善を申し入れしました

小さな子どもには使いづらい和式トイレの洋式化や、サビが目立つ公園内の歩道橋の整備、公園入り口のブロック敷きの修繕などを申し入れしました。



区公園課長と懇談する木村ひでこ

野党共闘で憲法9条守ろう

5万5000人が集まった5・3憲法集会に参加しました。変えるべきは憲法ではなく、憲法をないがしろにする政治です。



区長室にて（右から2人目が木村ひでこ）

認可保育園ふやして 予算要望の提出に参加

区の予算編成にあたって日本共産党区議団が毎年おこなっている予算要望の提出に参加。認可保育園、学童保育クラブの増設などを求めました。

レインボーかつしかの増便と安全対策を申し入れ

申し入れの際、「経営上採算がとれず、廃止するかどうかの瀬戸際」と聞きました。バス路線の存続に取り組んでいます。

新金線旅客化実現を 国土交通省に話を聞きました

最大の問題である国道6号線との交差は、「高架でなければならない」という法律はないそうです。区内南北交通の充実に向けてがんばっていきます。



新金線と国道6号の交差部



さっそく行動
木村ひでこ

区政へのチャレンジを決意し約1年。区民のみなさんから寄せられる様々な要望・願いの実現に奮闘しています。

なにごとともチャレンジ！やり抜くルーツは

母・木村ひでこを語る

母は負けず嫌いですが、間違っただけは絶対に許さない人です。

母子家庭で貧乏なはずなのに、保育園のころから習い事をさせたり、塾に通わせたり、ホームステイにも行かせてくれました。「母子家庭だから」と思われなくなかったのかも知れません。

小学生の時、私が他人の文房具を盗んでしまったことがありました。母はすぐ私を連れて相手方の親に謝りに行きました。私は母が頭を下げて謝る姿を見ていました。後で聞いた話ですが、私に怒る前に他人の親に謝る母を見て考えてほしかったと言っていました。

介護の仕事をしていた母は、仕事先で何かあると、いつでもすぐに飛んでいきました。ある朝、目が覚めたら母がいないことがありました。朝ごはんも食わずに学校に行って、担任の先生から母の職場の施設で火事があったと聞かされました。母は高齢者の方の命を助けるために駆けつけていたのです。

こんどは区民の生活、命を守るため全力でがんばってください。応援しています。

木村 知英（娘）

に知り合った人と結婚しましたが、距離感が生じてしまい離婚。しかしお腹の中には子どもが…。シングルマザーで一人娘を育てました。貧乏だった私は、娘には同じ思いをさせたくないという気持ちが強かったです。しかし子育ては親も子供も一緒に成長するんですね。子どもに助けられたことが多いです。何よりも私たち姉妹4人を育てた祖母の偉大さを、自分が親になってあらめて感じました。

いま子どもの貧困が社会問題になっています。本当に胸が痛みます。安心して子育てができる社会を実現していきます。

高卒で東京・アルバイト。結婚と離婚、シングルで子育て

東京に上京し、十条の商店街の中にある八百屋の2階を借りて短期の専門学校に通っていました。その頃

何でもチャレンジするのが好きなんです。クルマ好きで中型のバイク免許も取得。カワサキのゼファー400CCが愛車でした。船舶の免許も持っているのですが、職場の人たちと屋形船のような船を借りて花火大会に行ったこともあります。

その後ハーフマラソンでリベンジ

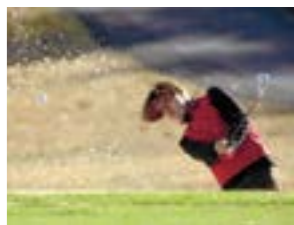
身体を動かすのが大好きで、中学時代はバレーボールをやっていました。

東京マラソンは宝くじが当たったかのように大喜び。気合いをいれて練習したら疲労骨折。出場はしたものの、結果は足の痛みと体力不足で途中棄権。完走できなかった悔しさのあまり、娘と一緒にハーフマラソンをエントリーし、ビリでしたが親子で完走することができました。

4歳で母を亡くし、祖母に育てられました

山形県南陽市で四人姉妹の三女として生まれ、4歳のときに亡くなった母に代わり、祖母が私たちを育ててくれました。

小学校入学の時に買ってもらったオルガンが机がわり。土木関係の仕事をしていた父は東京に出稼ぎに出ることもあり、狭い市営住宅で小さい時から毎日家事を手伝って育ちました。



“福祉の心”がわかる 木村ひでこさん

何としても押し上げてください

木村ひでこさんは、大変、積極的な人です。私と一緒に子育てアンケートに取り組んだときも、次々にパパ、ママに声をかけてくれました。

人の話を丁寧に聞けるのは、長年、介護の仕事にたずさわった人ならではの。区民の声を区政に反映できる人です。

何としても押し上げてください。



都議会議員

和泉なおみ

<木村ひでこの活動地域>

金町、新宿1～5丁目、青戸、白鳥2～4丁目、お花茶屋



ご意見・ご感想をお寄せください TEL 03-3697-2101 FAX 03-3695-4937 (日本共産党葛飾地区委員会)